



国際交流員ウィルペルトのコラム

待ちに待ったお休み！ Endlich Ferien! (エンドリッヒフェリエン)



先月のReiterferien・乗馬キャンプに引き続き、今月も夏休みについて書きます。親が働かないといけないのなら、子どもたちには乗馬キャンプ以外にも楽しく夏休みが過ごせる選択肢があります。

そのひとつは、Ferienprogramm (休みプログラム) です。多くのまちでは、市役所が市内にあるいろいろな団体やクラブ、道場などの協力を得て、夏休みの6週間、ほぼ毎日何らかのプログラムを提供します。団体などがボランティアとしてドアを開いて、子どもたちのために半日から1日、ときには数日に及ぶアクティビティを提供します。例えば、図書館で魔法界に入ってハリー・ポッターのクイズに挑戦したり、武術道場で護身術を学んだり、各国の料理を作ったり、チェスを学んだり、森の中のハイロープ・コースに挑戦したり、ADAC (日本の



JAFに相当) で自転車の安全な乗り方を学んだり、果樹・園芸協会と自然を体験したり、ダンススクールでヒップホップダンスに挑んだり、騎士の訓練を体験したり、犬のスポーツクラブで犬について学んだり、パン屋でケーキポップにおいしくデコレーションしたり、青年センターでプロ用DJ機器の使い方の基本を学んだりすることができます。私も小さいころにいろいろなアクティビティに参加しましたが、いつも楽しかったです。

アクティビティの多くは無料で、ランチが提供される場合は500円程度かかります。日帰り旅行などのアクティビティは大体2千円ぐらいです。

アクティビティの多くは無料で、ランチが提供される場合は500円程度かかります。日帰り旅行などのアクティビティは大体2千円ぐらいです。

市役所だけではなく、いろいろな慈善団体や福祉基金が子ども向けの夏休みプログラムを実施します。例えばOrtsrandterholung (地域レクリエーション) は、子どもたちが1週間から2週間ほど、朝から夕方まで、用意されたアクティビティに参加しますが、寝るときは家に帰ります。朝食と昼食、午後のおやつも付いてくるから親は楽で、1週間で約1万円なので、そんなに高くはないと思います。

プログラムを用意するのは、教育学的な研修を受けたボランティアで、地域にもよりますが、大体はスポーツとクリエイティブなアクティビティをバランスよく行います。森や自然の中で遊ぶ時間も多いです。団体やプログラムによっては、最後の夜に親が見に来るイベントを開催し、子どもたちがレクリエーションの間にダンスの振付をしたり、コントを覚えたりして、親のために演じます。

しかし、夏休みに最も多く開催されるのはFreizeitです。直訳すると「自由時間」ですが、つまりはキャンプのことです。Kinderfreizeit (子どものキャンプ) やJugendfreizeit (青年のキャンプ)、Sprachfreizeit (語学のキャンプ) など、様々です。例えば、小学生が3週間も北海に滞在するキャンプがあります。青年のキャンプは、ギリシャからフィンランドまで、ヨーロッパ中に行きます。イタリアのビーチを楽しめるキャンプや、フランスで岩登りや狭い洞窟の探索などをするアドベンチャーキャンプ、スウェーデンの湖をカヌーで旅するキャンプなど、いろいろな面白いキャンプがあります。

もうひとつの特別なキャンプはZeltlagerです。Zeltは、テントのこと。本当の意味で、みんなでキャンプをします。特別なお楽しみは、焚火でStockbrot (棒パン) を焼くことです。焚火のと



きは誰かがギターをもってきて、一緒にビートルズの「Yesterday」、Nenaの「99 Luftballons」やReinhard Meyの「Über den Wolken」など、いろいろな有名な歌を歌います。

これらのキャンプを企画・運営している人の大多数は、16歳以上のボランティアです。ドイツではボランティア活動が高く評価され、就職活動にもプラスになるから、そのような経験を積みたい若者が結構います。教育学部に通っている大学生にとっては、子どもたちと接する経験が卒業に必要な項目のひとつとして評価されます。ですが、キャンプのJugendleiter (青年リーダー) になるには、研修を受けて、子どもの年齢や成長段階によって何が必要か、何週間も親元から離れるのは初めてかもしれない子どもたちをどうやってサポートするか、しっかり学ばないといけません。また、キャンプ開催の6か月前からチームを組んで毎月何回も話し合い、毎日の起床から就寝の時間まで、子どもたちのスケジュールやルール、リーダーたちの役割、用意するもの、すべてを決めます。

キャンプは、子どもたちにとって「家ではないこと・できないことに挑戦し、自分を超越する経験ができる場」であり、「そこで初めて出会った仲間と、共通の思い出でつながる一体感を感じられる場」で、成長や自己肯定感の向上につながります。最近では、そんな気持ちを再び味わいたい大人のためのキャンプもあるそうですよ。